

資料展示「POPと楽しむ“図書館職員のオススメ本”」 を実施しています！

【イチオシの本、集めました！】

県立図書館では、毎週水曜日に「図書館職員のオススメ本」と題して、職員が選んだ本を手作りPOPとともに展示し、貸出ししています。

魅力ある本との出会いを楽しんでいただけるよう、今までに御紹介したオススメ本の中から厳選し、改めて展示・貸出しします。図書館職員がセレクトした本をぜひ手に取っててください！

1 期間

令和8年6月16日(火)～9月6日(日)

2 内容

「図書館職員のオススメ本」の展示・貸出

3 展示資料

図書 61冊及びPOP 61点

【例】

『帰ってきた生協の白石さん』白石 昌則／著、講談社、2023 【049/123シ】

「生協の白石さん」が18年ぶりに戻ってきた！「相対性理論と特殊相対性理論どっちが好きですか」「妻との会話がいない」など、現役大学生の質問や当時の大学生(現40代)のお悩みにゆる～く答えるQ&A集。

『「やさしい日本語」で観光客を迎えよう:インバウンドの新しい風』加藤 好崇／編著、大修館書店、2019 【817.8/119カ】

日本語でおもてなしをしよう！訪日観光客の8割はアジアから。日本語が分かる人も多いので、片言でもやりとりができれば、旅の思い出になる。意識的に調整する「やさしい日本語」の作り方・使い方を解説し、実践例を紹介。

『空気を読む人読まない人:人格系と発達系のはなし』老松 克博／著、講談社、2021 【S146.1/121オ】

空気が読めるから同調圧力に苦しむ「人格系」、自由で正直だから人を怒らせやすい「発達系」。不仲、いさかい、憎み合いの裏には、2つのタイプの激突が潜んでいることを解説し、人間関係と心のつらさを改善する方法を示す。

